

被災者支援のための仕組みを ロジスティクスの観点から設計する。

(株)ピーアイ物流企画公共ロジスティクス研究所
伊藤秀行

網ピーアイ物流企画

1

- 水害等の被災者の 避難生活を支援するための食糧等の供給は必ずしも充分ではない。自宅の2階に避難した人は とりわけ そうである。
- また 水が引いた後に排出される 災害廃棄物の撤去作業は 人手不足や 自宅前生活道路への積み上げ・占拠が 作業を遅らせている。
- これは 生活物資の調達～支給までの手順や 撤去作業の手順が具体的になっていないことが原因と考えられる。
- これらの作業の手順を明確にするため 状況を定量的に把握し 公共ロジスティクスの観点から 具体的に設計することを試みた。
- ロジスティクスの運用は それを支援する情報システムと一体で検討される必要がある。

網ピーアイ物流企画

2

検討すべき4つの課題

- (1)被災中の被災者向け生活物資 供給の仕組み
- (2)早期復旧のための 災害廃棄物早期撤去の仕組み
- (3)ボランティアの組織化と 支援の仕組み
- (4)関係者(行政・ボランティア団体・民間企業)の役割と分担

網ピーアイ物流企画

3

公共ロジスティクスとは

被災地内(有事)ロジスティクスと 被災地外(平時)のロジスティクス

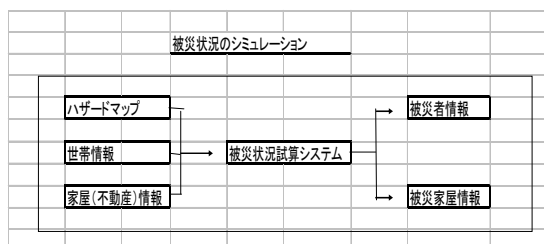
災害時搬運のためのロジスティクス		
接点		
被災地外のロジスティクス (平時のロジスティクス)	⇒ =	物資集積センター=物資支給センター = 排出物集積のための広場
		⇒ =
		被災地内ロジスティクス (有事)
(救援物資)	平時のロジスティクスで運用	ボランティアの支援
(災害廃棄物)	ビジネスロジスティクス	ボランティアの支援
平時のロジスティクス=ビジネスロジスティクス		

網ピーアイ物流企画

4

一般モデルの設計 (被災状況の事前シミュレーション)

- ハザードマップ・家屋情報・住民情報をもとに 被害状況を試算し 定量的に把握する。

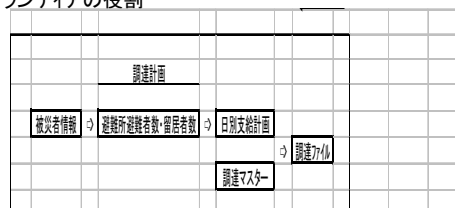


網ピーアイ物流企画

5

生活支援物資の供給

- (1)調達・配布計画
- (2)留居者(自宅に留まった)への配布方法
- (3)配布作業用の道具(共同備蓄)
- (4)ボランティアの役割

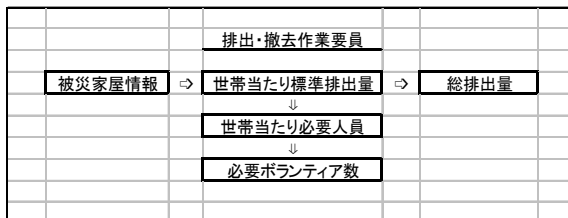


網ピーアイ物流企画

6

排出物撤去

- (1)撤去計画と その道具・要員
- (2)撤去作業用の道具の用意(共同備蓄)
- (3)ボランティアの役割



備ビーアイ物流企画

7

役割分担

- (1)自治体職員
- (2)ボランティア
 - 保険制度
- (3)ビジネス関係者
 - ビジネス化することの必要性

備ビーアイ物流企画

8

一般モデルのカスタマイズ化

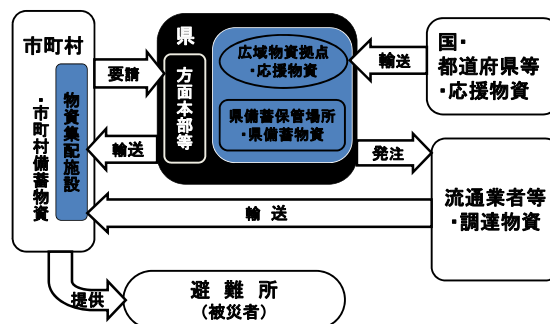
- (1)一般モデルのカスタマイズ
- (2)中部ニュービジネス協議会の中の研究会
- (3)愛知県碧南市での 簡易モデル作成
- (4)流通在庫の活用と宝の山

粉ミルクの備蓄(2090年)		単位:g
市町村合計	2440000	
(30自治体 内18自治体は 備蓄 0)		
1缶1000g	1000円	賞味期限
	244万円	分包 14g1本40円

備ビーアイ物流企画

9

大規模災害(スーパー室戸台風・東海地震)と緊急物資の流れ
(都道府県レベル)



備ビーアイ物流企画

10

物資の移動

- 通常の物資移動の仕組み
- 被災地内も その応用



11

給水



12